

# 臨床検査科支部会報

<第2号>

2013年10月16日発行  
川崎医療短期大学同窓会（松丘会）  
臨床検査科支部  
〒701-0194 岡山県倉敷市松島 316  
E-mail douso2011@gmail.com

e-  
PIPETTS

## 支部長退任にあたっての挨拶

松丘会 臨床検査科支部支部長  
支部長 舟田和幸

長年にわたり同窓会（松丘会）臨床検査科支部長を務めてまいりましたが、来年の3月下旬で退任させていただくことになりました。前支部長の後を受けて臨床検査科支部の活動を進めてまいりましたが、学内・学外の理事の皆様方のご尽力と会員の皆様の温かいご協力のお陰で無事に務めることが出来ました。私を支えて下さった皆様に心から御礼申し上げます。

この間には色々なことがありました。同窓会活動の中でもインターネットの普及に伴い会員の皆様への情報提供は、会報のピペッツから同窓会のホームページになり、いつでもどこでもホームページからご覧いただける環境になりました。また、会報ピペッツは電子版となり今後タイムリーな投稿が可能となります。この実績は、一緒になって協力して頂いた、理事の皆様が、一生懸命ご尽力頂いたからこそその賜物と感謝申し上げます。しかしながらいくつかの問題を抱えているのも事実であります。

支部同窓会も発足から40年を迎えようとしております。新支部長の基、一丸となって、より良い支部会を運営されて行かれる事と思います。会員の皆様も同窓生で良かったと思える同窓会になるようご協力をお願い致します。

永い間ありがとうございました、後任の支部長を宜しくお願い致しまして退任の挨拶とさせていただきます。

# 同窓生近況報告1

## 私の検査室の素敵な先輩

28期生 天野真依子  
(倉敷成人病センター)

今回活躍している卒業生を紹介するという事で、勤務先の先輩をご紹介しますと思います。私の勤務する倉敷成人病センターには皆が尊敬し、あこがれる素敵な卒業生の先輩がおられます。医局の先生方を含め、他部署の職員からも頼りにされるその先輩は、4期生の佐藤達郎先生です。もちろん院外でも様々な場で活躍され、試薬の添付文書にもお名前が載ってしまう程の、本当に先生とお呼びしなければならない大先輩です。

佐藤先生はとにかく色々な事をよくご存じで、どんな質問をしても答えて下さいます。まさしく「歩く臨床検査法提要」と言った具合で、知らない事なんて無いんじゃないかと思ってしまう。答えを下さる時も、ただ質問の内容に関する事だけではなく、何か必ず付け加えて下さいます。それは文献には書かれていない事だったり、自分が知らないだけで疑問にさえ思わなかった事だったり。もちろん何気なくお話されているだけなのだと思いますが、物事の本質が解っていない私には勉強になる事ばかりです。それに、誰よりも器用にお仕事をされるので、一つ一つの作業がとても綺麗でびっくりします。佐藤先生が検体希釈をされる所を何度も見せていただきましたが、その度に美しいと思ってしまう。

また、相手に合わせたお話や仕草で、いつでも気遣いの心をお忘れにならないのも佐藤先生の凄さです。外来の検査も担当されていますが、その気配りに患者様は安心しておられる事と思います。検査室でも「適当に」とか「良い加減で」などと周囲の雰囲気や和ませるように言われる事があり、皆がその言葉でホッとするのが見えて良く分かります。

学会発表や論文発表も毎年必ずされていて、以前「続けるのって大変なんだよ」と言われた事がありました。忙しい日常業務をこなしながら、発表のための検討に、準備に…その通りだと思いました。私は何をやっても中だるみしてしまいますが、情熱を持って挑戦し続ける事、継続する力の大切さを、佐藤先生には教えて頂いています。常に新しい事を考えておられるので、きっとこれからも『生涯現役』で続けていかれるのだと思います。

こんな凄い先輩の居られる検査室に就職できて自分は本当に幸運だったと思っていますし、多くの先輩方にも導いて頂き、恵まれた環境で日々を過ごしています。とても佐藤先生のようにはなれませんが、私も頑張りたいと思います。



4期生 佐藤達郎さん

## 同窓生近況報告2

### 40 前のピミョーな毎日

23 期生 安西 貴史  
(岡山労災病院)

高校を卒業して生まれ育った故郷を離れ、3 年間過ごした短大周辺も、臨床検査科を卒業して 15 年の間に、あの頃とは違った風景となってしまいました。しかし岡山市に在住しているためか、懐かしさも変化の新鮮さも感じられません。岡山に腰を据える気はなかったはずなのに、いつの間にか故郷より岡山県人歴が長くなってしまいました。

そんな私の住んでいる岡山市は病院の移転・新築・増築ラッシュ?を迎えており、いろいろな病院が綺麗になったり、大きくなったりしています。その中に新しく生まれ変わったが、小さくなってしまった病院があります。それは私の勤務する岡山労災病院です。アクセスがよくない岡山市の南の端に位置していますが、“岡山市南部地区における中核病院として、地域住民に対する質の高い医療、そして勤労者の多様な医療ニーズに対応する病院です。”と紹介されています。(岡山労災病院ホームページより)

病院が小さくなったので、当然検査部も狭くなってしまいました。検査技師は 20 名で、そのうち同窓生は 3 名です。私の担当は一般検査と血液検査で、順番で採血業務も行っています。血液の認定を取得し、それなりに頑張っているつもりです。当直は月 2 回程度ですが、寝不足は大敵です。20 代の頃は 1 日寝れば翌日は元気になっていたのに、30 を超えてからは 2・3 日引きずるようになりました。歳は取りたくないものです。経験が 10 年を超えてくると、意見(異見?)を言いたくなるのですが、権力がなくとても微妙な年代です。最近は子育てとの両立がハードで、自分の中での仕事と家庭との比率がだんだん家庭に向きつつある現状に、何とも表現しがたいモヤモヤとした気分になっています。家族を養っていくためにもそれなりではなく、頑張らないといけません。でも息抜きも必要です。夏休みのうちの数日や嫁が子供を連れて里帰りの時など、年に数日ある一人の時間が、大好きなパチンコをするとても大事な時間となっています。

あと 10 年、いや 15 年くらいはこういう生活が続くと思いますが、あまり深く考えず、ネガティブ思考の私ですが、何とかなるさくらの気持ちでポジティブに過ごしていきたいと思います。



写真左は新病院(左)と旧外来棟(右)です。写真右は家族で毎年1回は行くようにしているディズニーランドです。

## 同窓生近況報告3

### 卒業後

36期生 大石 徹



短大を卒業してから2年半、臨床検査技師になることを目指して岡山に来てからはや5年半が経ちました。岡山に来たばかりの頃、方言も知らずに始めたバイト先で、「はよお、しねえ！」と怒鳴られ、びっくりしたことを未だに鮮明に覚えています。そんな僕も今では岡山弁も話すようになり、だいぶ馴染んできたのかなと思います。

僕は愛媛県 新居浜市という海沿いの町の出身です。愛媛県には検査技術を学べる学校は少なく、地元を離れ、臨地実習が有名な本校に入ることになりました。

月曜～土曜日のびっしり詰まったカリキュラム、病院実習が始まるとレポートに追われ、3年からは国家試験に向けてひたすら勉強漬けの日々でした。仕事を始めてからは、慣れるまでに時間もかかり、一日もはやくルチンの業務がこなせるように、先輩方に迷惑をかけないように、と必死でした。そのため、なかなか地元に戻れることも少なかったです。しかし、どんなに落ち込んでいても地元に戻ると自然と元気が出て、帰路には「よし！明日からまた頑張るぞ」というやる気が出てくるのが“地元”のパワーなのだと思います。また、友達と話をすると同じように活力をもらえます。地元に戻った時や大学時代にも感じましたが、やはり周りの人の支えがあつてこそ、今の自分がいるのだと思います。これからもこの感謝の気持ちを忘れず、自分に出来ることを精一杯がんばっていこうと思います。





## 短大近況報告

### ザ・TANDAI ～夏の終わりに

近末久美子

(川崎医療短期大学 臨床検査科)

■近況報告をかねて、平成 25 年 9 月半ば～終わりの短大臨床検査科の様子をご紹介します。

○平成 25 年 9 月 17 日(火)…世の中は 3 連休明け…ようやく涼しくなった 9 月の半ば…

臨床検査科 2 年生は朝早くからバスに乗り込み、兵庫県のシスメックス(株)へと旅立っていきました。引率はまだまだ若いつもりの担任、中原貴子先生と優しいなかにも厳しさほとぼしる副担任の鐵原拓雄先生…2 年生といえどもなかなか手ごわい学生たち…くたびれた教員の姿が目に見えるようです。決してもう若くないのが現状です…。



○9 月 18 日(水)～20 日(金)…病院実習確認試験のためのトレーニングが開始されました。夏休み明けのけだるさと学外研修の疲れをいっぱい引きずって…でも、学生なりに一生懸命！？頑張ったつもりの 3 日間…学習成果は現れるのか…とっても疑問です。確認試験とは、病院実習へ出る前の関門として数年前から実施されている実技試験(化学系と形態系と生理の波形など)と筆記試験のこと、とにかくこの関門をくぐって病院実習へ…Let's Go!! とあいなりますか…

～週が明けてまだまだ短大のドタバタは続きます～

○9 月 22 日(日)、日曜日なのに～…午後からオープンキャンパス。高校生や保護者の方々・・・総勢 285 名・・・9 月とはいえ、まだまだ日中は 30℃を超えており、本当に御苦労さまです。臨床検査科では、学生の皆さんが中心になって病理や臨床化学の検査を紹介し、暑い…熱い…半日を終えました。

○9 月 24 日(火)…3 年生が早々と臨地実習(昔で言うところの研究室の実習)にやってきました。いよいよ研究発表会にむけての総まとめが始まりますが、短大は 2 年生の確認筆記試験でそれどころではなく…バタバタと週が明けました。

○9月25日(水)…この日は朝から1年生登場。後期の実習に向けて化学系の実習と顕微鏡の基礎実習を実施。ノートの書き方から爪や髪形に至るまで…少しずつ少しずつ…医療人として、検査科学生として磨きをかけられていきます。がんばれ！臨床検査技師のたまご達…

そして、この日の午後は臨床検査科の一大行事…ワッペン授与式…57名の学生が晴れてワッペンを授与され、「臨床検査科授与式誓詞」を強く読み上げ、決意表明をする…そんな小さな式典でしたが、会場内にはピンと張り詰めた空気が流れ、ワッペンの重みを感じます。通山薫主任、山口恒夫学長から激励の言葉を、松丘会臨床検査科支部長の舟田和幸氏から激励の言葉と記念品を贈呈されると不安を抱えながらも、病院実習への決意を新たに胸に刻んだ学生たち…活気ある学生たちの晴れ晴れしい笑顔を見るのはいいものだ…とつくづく感じた私は歳をとったのでしょうか。



○9月26日(木)…2年生の確認実技試験…朝から実習室はピリピリムード。お～い！2年生、学習の成果はいったい何処へ…

○9月27日(金)…この日は1年生の学外研修。ブドウ狩りとドイツの森で親睦を深め、英気を養ったはず…中国からの留学生<sup>りせつばい</sup>李雪梅さんも大喜びで帰校し、日本のブドウは「甘い!」と力説してくれました。秋のすがすがしい1日…1年生がたくましく育ってくれることを祈らずにはいられません。



○9月28日(土)…40周年記念講演会として倉敷市長伊東香織氏の講演がありました。演題は『今までの40年、そして“みらい”へ～川崎医療短期大学に期待すること～』…臨床検査科も先輩方が築かれた確かな40年の軌跡に感謝し、現在を悪戦苦闘し、遠くみらいへ続くことを祈ります。今をがんばらねば…

## 平成 25 年中四国合同同窓会 開催のお知らせ(予告)

今年度の中四国支部医学検査学会は広島で開催されます。これまでに無い企画・運用をと実行委員会を中心に頑張っているところです。皆様の来広をお待ちしております。

またその折、11月9日(土)に合同の同窓会を開催するよう準備を始めたところです。

詳細はおってご連絡させていただきますので、予定をあけてぜひこちらのほうにも参加してください。

連絡先 広島総合病院 0829-36-3111

6期 水野 誠士

14期 小松 浩基

38期 村田 竜也